

令和元年小田原市議会 12 月定例会 建設経済常任委員会資料

資 料 名	所 管 課	頁
観光交流センター整備事業について	観 光 課	1
和留沢開拓農道 位置図 (久野地内)	農 政 課	2
上曾我字駒形上地内農道 位置図 (上曾我地内)		3
沼代字入畑地内農道 位置図 (沼代地内)		4
日向林道 位置図 (久野地内)		5
鬼柳地区地区計画について	まちづくり交通課 建 築 指 導 課	6
池田排水路 平面図 (飯田岡・小台地内)	道 水 路 整 備 課	11
蓮正寺地内水路 平面図 (蓮正寺地内)		12
準用河川久野川 平面図 (久野地内)		13
市道 3019 ほか 2 路線 平面図 (蓮正寺地内)		14
穴部新田ほか地内認定外道路 平面図 (穴部新田 ほか地内)		15
市道 4453 平面図 (千代ほか地内)		16
準用河川剣沢川 平面図 (田島地内)		17
準用河川舟子川 平面図 (小船地内)		18
準用河川山岸川 平面図 (東大友・曾我別所地内)		19
令和元年度公共下水道整備第 13 工区工事 (高田地内)	下 水 道 整 備 課	20
令和元年度公共下水道雨水渠改良第 11 工区工事 (曾比地内)		21
令和元年度公共下水道長寿命化改築工事 (その 2) (中町二丁目ほか地内)		22

令和 元 年 12 月 9 日

観光交流センター整備事業について

1 事業概要

小田原城正規登城ルート上の玄関口となる馬出門の目の前という立地条件を最大限に生かし、小田原城を遠望できるガイダンス施設、カフェを併設した歴史や周辺エリアへの回遊を促す情報を発信する文化・観光交流施設となる観光交流センターを整備し、にぎわいを創出する。

2 年次整備スケジュール

- 令和元年度 本體工事
- 令和2年度 本體工事、内装工事、備品等設置
- 令和3年度 オープン

3 施設概要

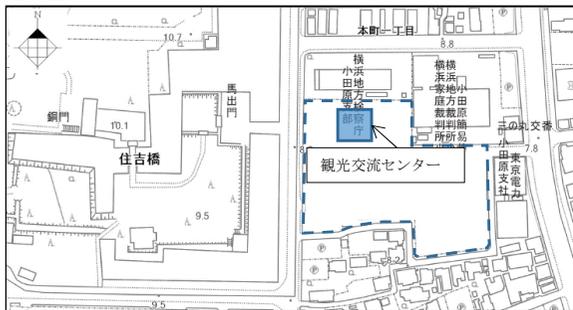
- (1) 所 在 小田原市本町一丁目 138 番 6
- (2) 構 造 鉄骨造
- (3) 階 数 地上2階建て
- (4) 敷地面積 9,820.25 m²の一部
- (5) 建築面積 568.49 m²
- (6) 延床面積 440.99 m²
- (7) 施工床面積 969.89 m²

4 継続費補正（本體工事費）

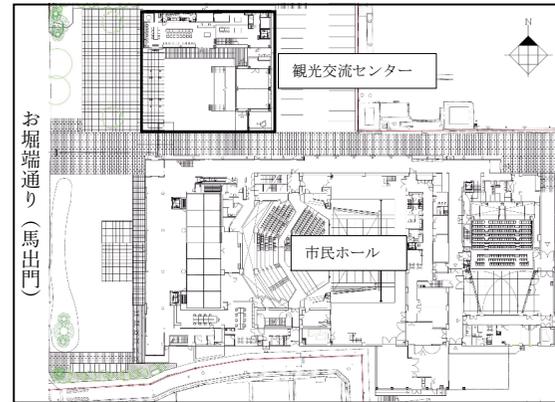
(単位：千円)

年度	事業費 (年割額)	財源内訳		
		国庫	市債	一般財源
令和元年度	120,180	45,477	62,800	11,903
令和2年度	183,420	67,846	96,700	18,874
合計	303,600	113,323	159,500	30,777

5 位置図



6 配置図



7 平面図

<ガイダンス・情報発信エリア>～回遊性向上～
 :案内所とカフェの境目を意識することなく行き来できる配置
 また、セレクト商品をPRしながら、観光客と地元商店をつなぐ空間

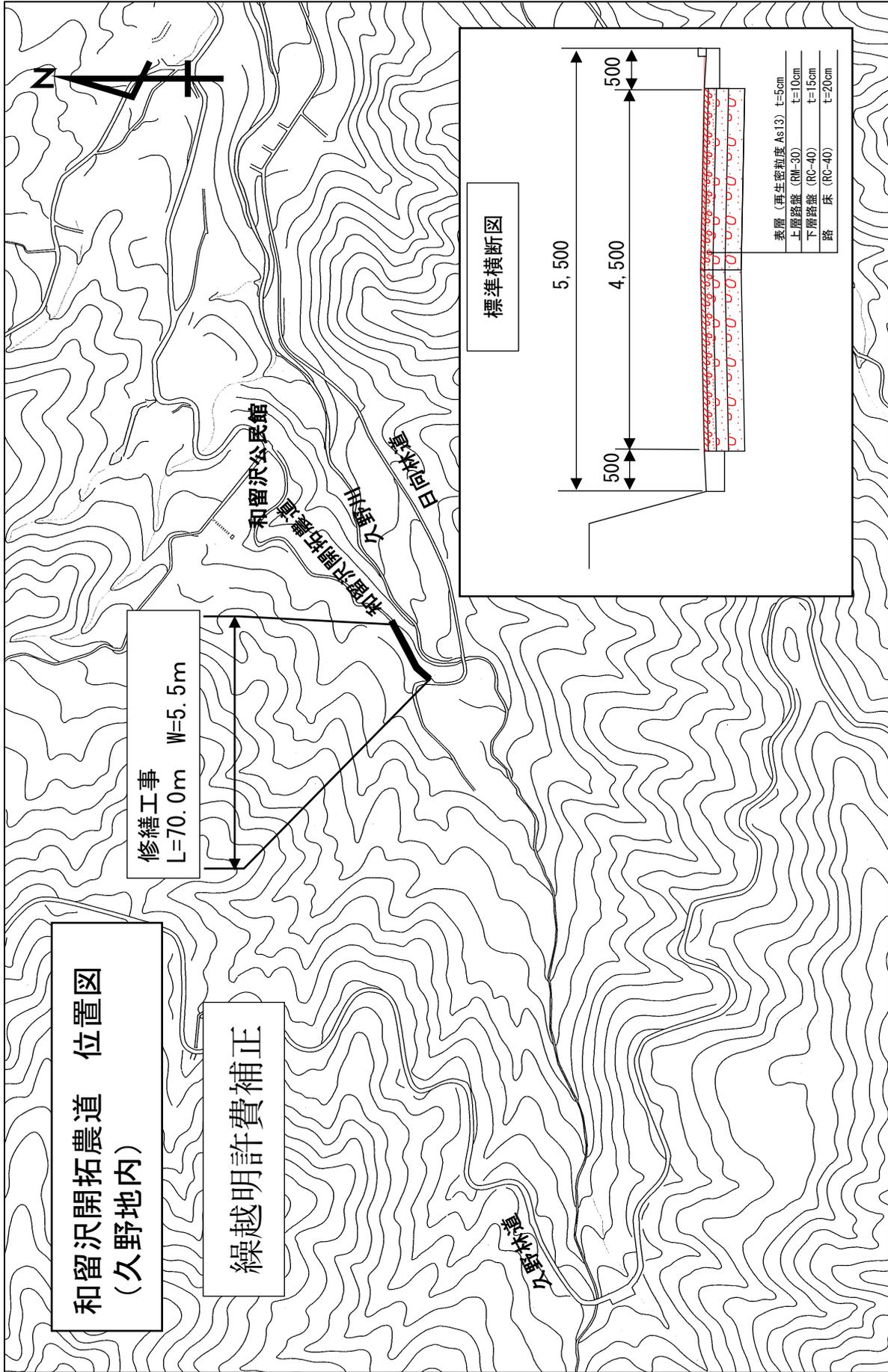
1階平面図

2階平面図

<ガイダンス・イベントエリア>～体験・交流～
 :広場と連携した情報発信や体験、イベントを実施
 また、市民ホールとも連携

西側立面図

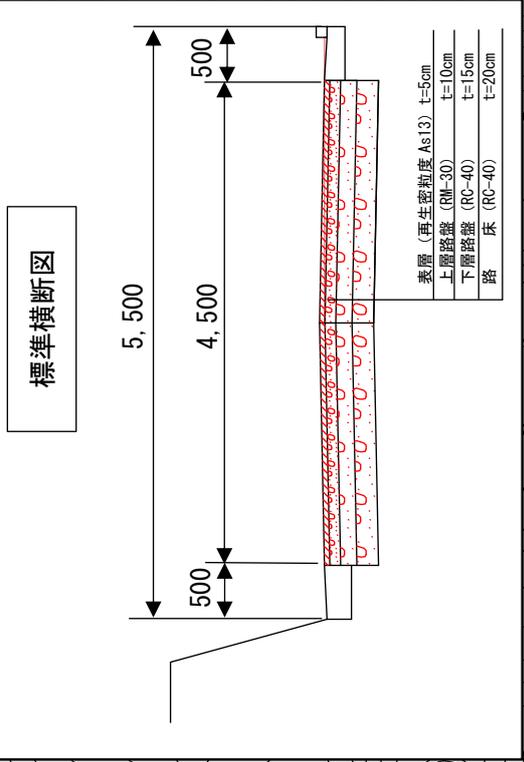
東西断面図

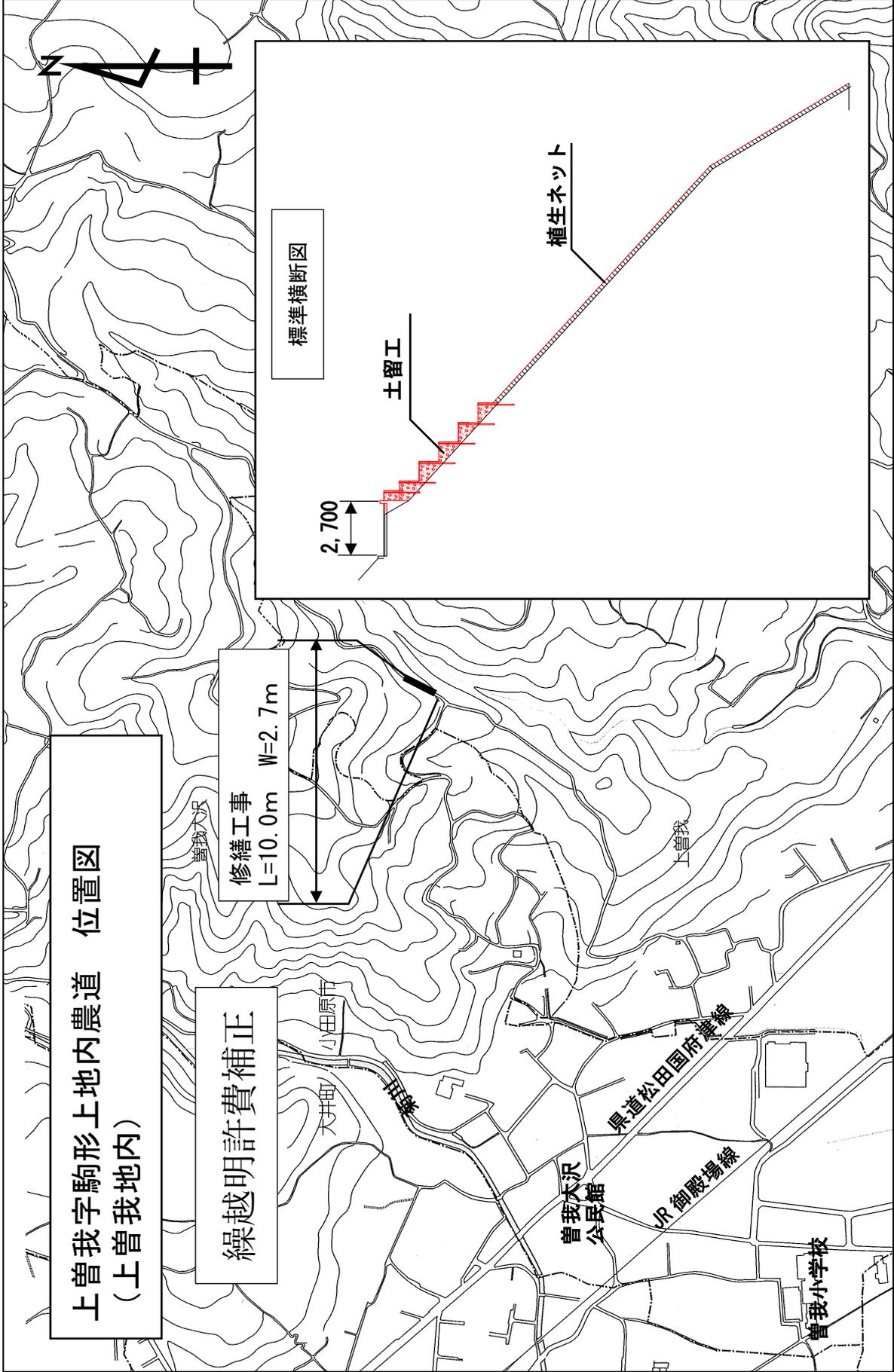


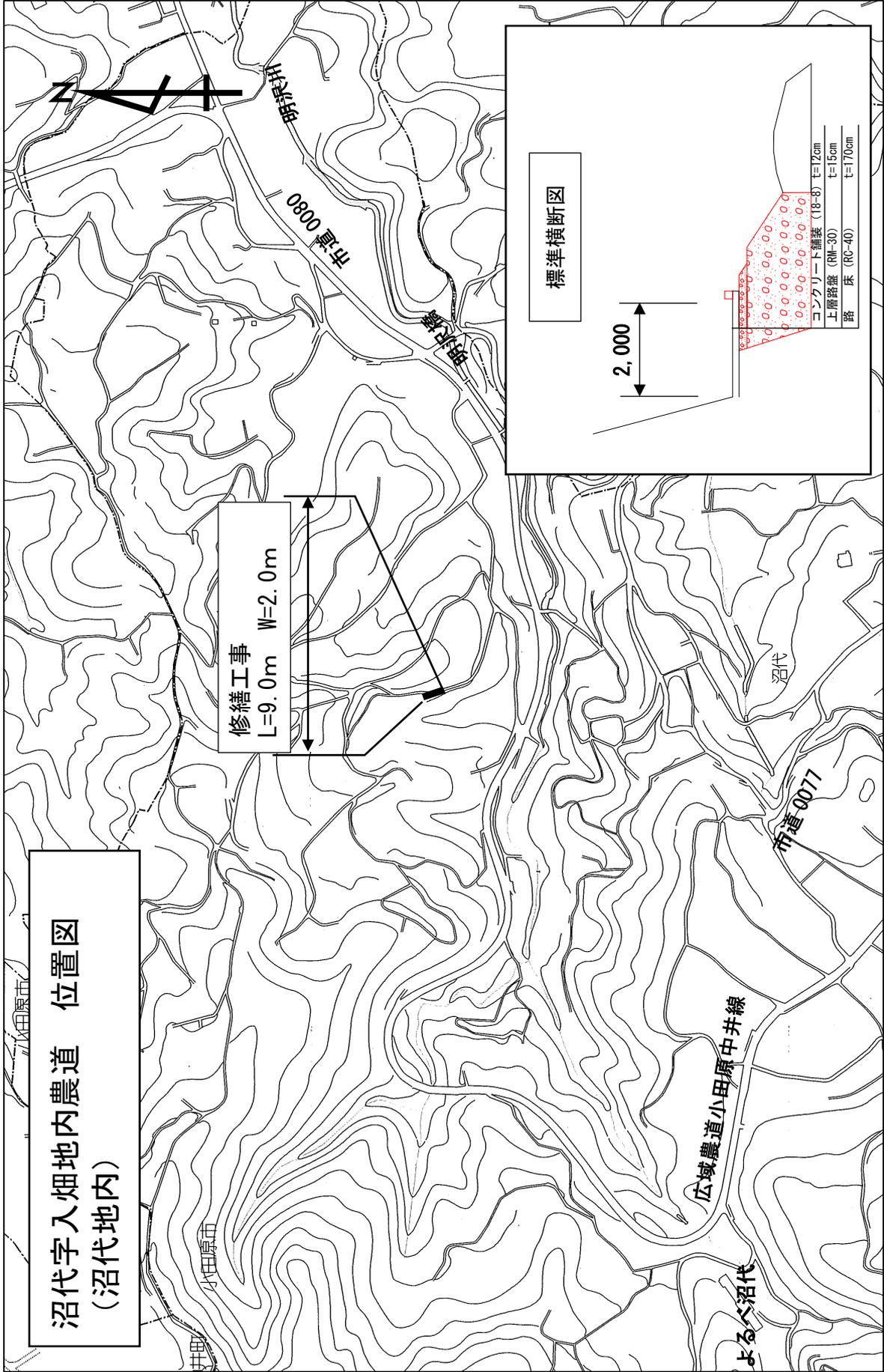
和留沢開拓農道 位置図
(久野地内)

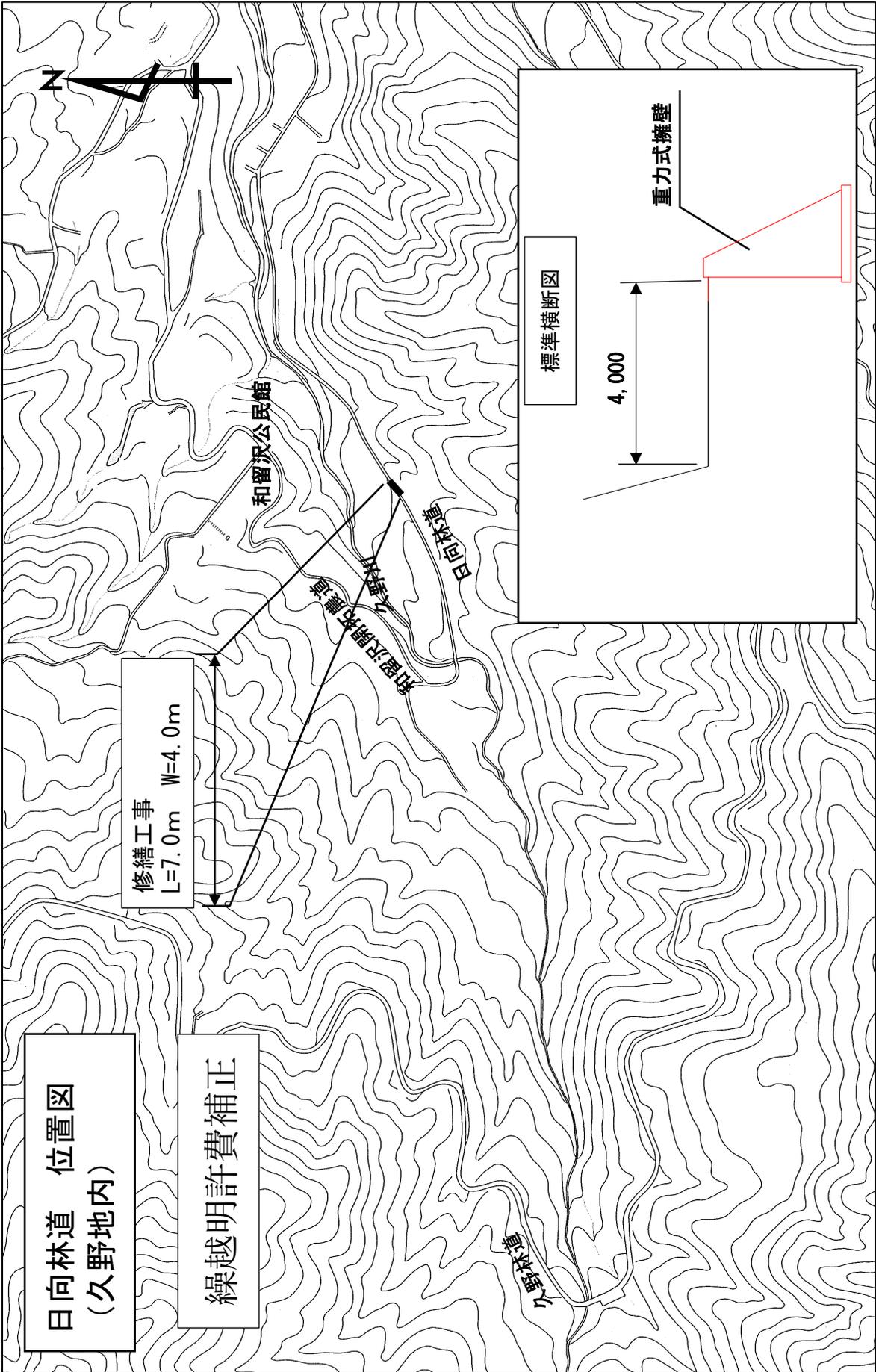
修繕工事
L=70.0m W=5.5m

緑越明許費補正









日向林道 位置図
(久野地内)

修繕工事
L=7.0m W=4.0m

標準横断面

4,000

重力式擁壁

鬼柳地区地区計画について

都市計画 鬼柳地区地区計画を次のように決定する。

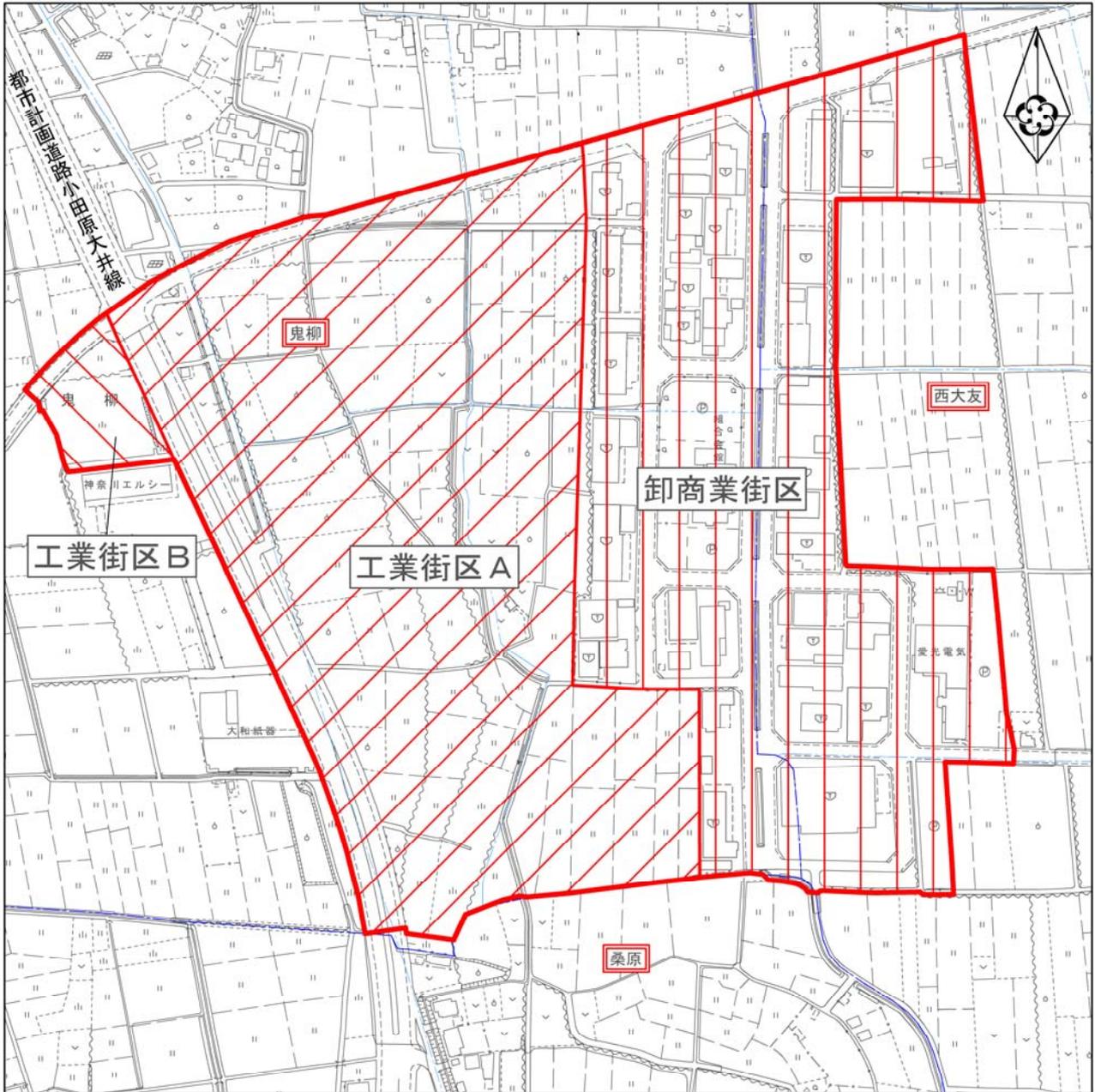
名 称	鬼柳地区地区計画	
位 置	小田原市鬼柳字池田、字石原町、字角力場、字砂田及び字川久保、西大友字大町、字向田及び字内ノ町並びに桑原字六反田地内	
面 積	約 20.0ha	
地区計画の目標	<p>本地区は、川東北部地域の幹線道路沿道に位置し、交通利便性の高い地域であり、卸売業の集積地として良好な街区を形成する一団の産業団地が整備されているほか、開発事業により工業団地として整備が行われる区域である。</p> <p>そこで、地区計画を定めることにより、恵まれた自然環境と調和した、公害を発生する恐れのない工場、研究開発型企业、卸売業の施設等が集積する産業団地機能を将来にわたり維持・保全することを目標とする。</p>	
区域の整備・開発及び保全の方針	土地利用の方針	<p>本地区の区域を工業街区と卸商業街区とに区分し、それぞれ次の方針のもとに適正な土地利用を促進する。また、区域内には道路、水路、公園、緑地、雨水調整池を適正に配置する。</p> <p>工業街区 — 工業・研究開発・流通施設等の立地を促進し、緑に囲まれた快適な操業環境の形成とその保全を図る。</p> <p>卸商業街区 — 卸商業団地として、機能の維持・保全を図る。</p>
	地区施設の整備の方針	<p>開発事業により整備される道路、公園、緑地については維持・保全を図る。</p>
	建築物等の整備の方針	<p>工業街区、卸商業街区のそれぞれの団地としての機能を維持・保全するため、建築物等の用途の制限、建築物の敷地面積の最低限度、建築物等の形態又は意匠の制限、壁面の位置の制限、垣又は柵の構造の制限について必要な基準を設ける。</p>
	緑化の方針	<p>周辺の自然環境との調和に配慮し、緑豊かな団地の形成を図るため、敷地内等の緑化に努める。</p>

地区 区 整 備 計 画	地区施設の 配置及び規 模		道路	区画道路 幅員 約 10.7～12.4m 延長 約 420m		
			公園等	公園 1 箇所 面積 約 3,900 m ² 緑地 1 箇所 面積 約 460 m ²		
	地区 の区 分	名称	工業街区A	工業街区B	卸商業街区	
		面積	約 10.4ha	約 0.4ha	約 9.2ha	
	建 築 物 等 に 関 す る 事 項	建築物等の用 途の制限		次に掲げる建築物以外の建築物は、建築してはならない。		
				1 工場（建築基準法別表第二（る）項第1号(1)から(8)まで、(11)から(13)まで、(16)、(20)及び(31)に掲げる事業及び同法第51条に規定する建築物の用途に係る事業（以下「特定事業」という。）を営むものを除く。）	1 工場（特定事業を営むものを除く。） 2 研究施設又は研究開発型施設（特定事業に関するものを除く。） 3 倉庫 4 主に食料品や日用品を販売する店舗又は飲食店であって、その用途に供する部分の床面積の合計が、300m ² 以内のもの	1 卸売業に関する事務所又は倉庫 2 1の建築物であって、店舗又は飲食店の用途を兼ねるもののうち、その用途に供する部分の床面積の合計が300m ² 以内のもの 3 巡査派出所、公衆電話所その他これらに類する建築基準法施行令第130条の4に規定する公益上必要な建築物 4 1から3までの建築物に附属するもの
				2 研究施設又は研究開発型施設（特定事業に関するものを除く。） 3 倉庫 4 1から3までの建築物であって、店舗又は飲食店の用途を兼ねるもののうち、その用途に供する部分の床面積の合計が300m ² 以内のもの 5 1から4までの建築物に附属するもの	5 1から4までの建築物に附属するもの	ただし、この都市計画決定の告示の日に現に存する建築物（建築、修繕又は模様替の工事中の建築物を含む。以下「既存建築物」という。）と同じ用途で、かつ、同じ敷地内で行われる建築、修繕又は模様替については、この限りでない。
	建築物の敷地面積の最低限度		5,000 m ²	500 m ²	300 m ²	

地区整備計画	建築物等に 関する 事項	建築物等の形態又は意匠の制限	<p>1 建築物の屋根（ひさしを含む。以下同じ。）及び外壁等（屋根以外の部分をいう。以下同じ。）並びに工作物（自動販売機を除く。以下同じ。）の外観の色彩は、次の表のとおりとする。ただし、建築物の屋根^{ゆう}にあつては無釉の和瓦、銅板によるものの色彩、建築物の外壁等及び工作物にあつては着色していない木材、土壁、ガラス等の材料によって仕上げられる部分の色彩又は見付面積の5分の1未満の範囲内で外観のアクセント色として着色される部分（地盤面からの高さ10m以下の部分に限る。）の色彩については、この限りでない。</p> <p>(1) 建築物の屋根の色彩</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用する色相</th> <th>明度</th> <th>彩度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.1R～5Y</td> <td>5以下とする。</td> <td>4以下とする。</td> </tr> <tr> <td>上記以外の色相</td> <td>5以下とする。</td> <td>2以下とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 建築物の外壁等及び工作物の色彩</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用する色相</th> <th>明度</th> <th>彩度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">0.1R～5Y</td> <td>7.5以上の場合</td> <td>2以下とする。</td> </tr> <tr> <td>7.5未満の場合</td> <td>4以下とする。</td> </tr> <tr> <td>上記以外の色相</td> <td>全域</td> <td>2以下とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>色彩はJIS Z8721によるマンセル値</p>	使用する色相	明度	彩度	0.1R～5Y	5以下とする。	4以下とする。	上記以外の色相	5以下とする。	2以下とする。	使用する色相	明度	彩度	0.1R～5Y	7.5以上の場合	2以下とする。	7.5未満の場合	4以下とする。	上記以外の色相	全域	2以下とする。	<p>建築物及び工作物の外観の色彩の制限は、次の表のとおりとする。ただし、建築物若しくは工作物の着色していない木材、土壁、ガラス等の材料によって仕上げられる部分の色彩又は建築物若しくは工作物の見付面積の5分の1未満の範囲内で外観のアクセント色として着色される部分（地盤面からの高さ10m以下の部分に限る。）の色彩については、この限りでない。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用する色相</th> <th>彩度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.1YR～5Y</td> <td>4以下とする。</td> </tr> <tr> <td>上記以外の色相</td> <td>2以下とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>色彩はJIS Z8721によるマンセル値</p>	使用する色相	彩度	0.1YR～5Y	4以下とする。	上記以外の色相	2以下とする。
			使用する色相	明度	彩度																									
0.1R～5Y	5以下とする。	4以下とする。																												
上記以外の色相	5以下とする。	2以下とする。																												
使用する色相	明度	彩度																												
0.1R～5Y	7.5以上の場合	2以下とする。																												
	7.5未満の場合	4以下とする。																												
上記以外の色相	全域	2以下とする。																												
使用する色相	彩度																													
0.1YR～5Y	4以下とする。																													
上記以外の色相	2以下とする。																													
			<p>2 建築設備は、前面の道路から見えない位置に配置する。ただし、ルーバーの設置等により当該設備が直接露出しないよう修景を行った場合は、この限りでない。</p> <p>3 自動販売機の色彩の制限は、次のとおりとする。ただし、木製の囲い等により周囲と調和するように修景を行った場合は、この限りでない。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用する色相</th> <th>明度</th> <th>彩度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5Y</td> <td>7.5</td> <td>1.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>色彩はJIS Z8721によるマンセル値</p>	使用する色相	明度	彩度	5Y	7.5	1.5																					
使用する色相	明度	彩度																												
5Y	7.5	1.5																												

地区整備計画	建築物等に関する事項	壁面の位置の制限	建築物の外壁若しくはこれに代わる柱の面から計画図記載の境界線までの距離は1.5m以上、その他の境界線までの距離は1 m以上とする。ただし、既存建築物に係るその規模等の範囲内で行われる建築、修繕又は模様替えについては、この限りではない。	
		垣又は柵の構造の制限	都市計画道路小田原大井線に面する垣又は柵の構造は樹木によるものとし、ネットフェンス等を併用することを妨げない。ただし、宅地地盤面からの高さが0.4m以下の部分及び門等の出入口に係る部分については、この限りでない。	

鬼柳地区地区計画区域図



凡例

 地区計画の区域 (約20.0ha)

地区整備計画

 工業街区A (約10.4ha)

 工業街区B (約0.4ha)

 卸商業街区 (約9.2ha)

池田排水路 平面図 (飯田岡・小台地内)

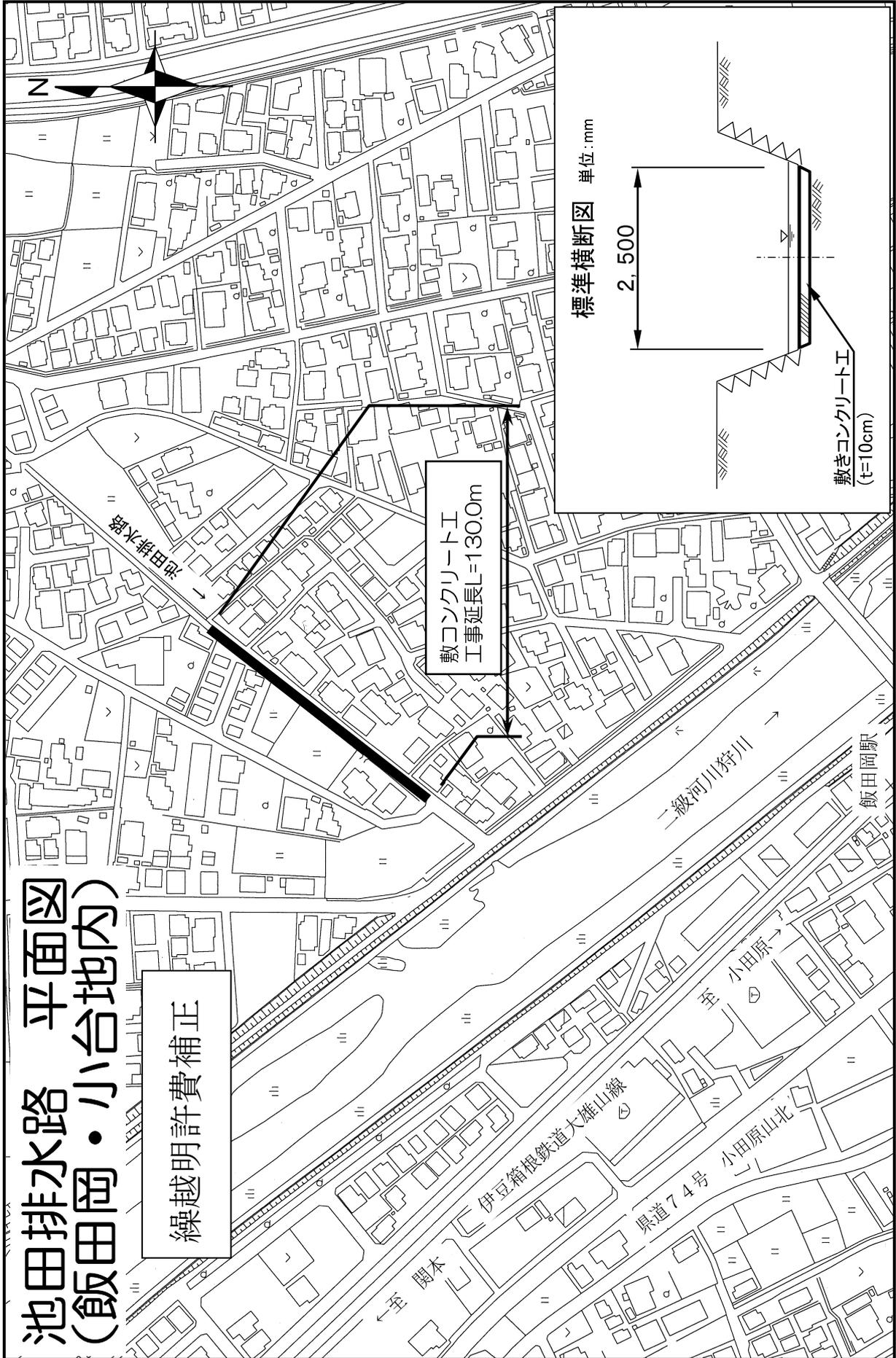
繰越免許補正

敷コンクリート工
工事延長L=130.0m

標準横断面 単位:mm

2,500

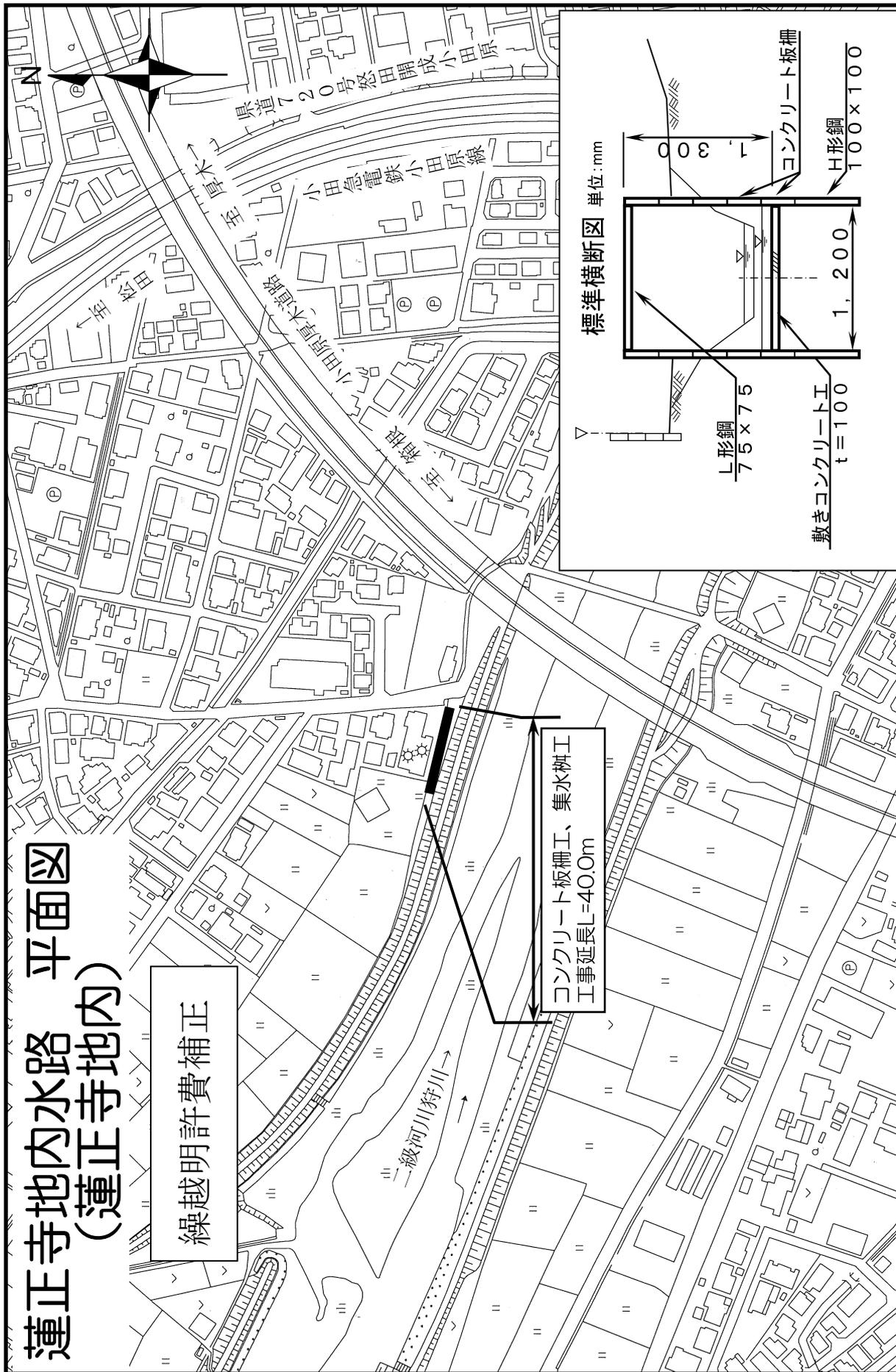
敷きコンクリート工
(t=10cm)



蓮正寺地内水路 平面図 (蓮正寺地内)

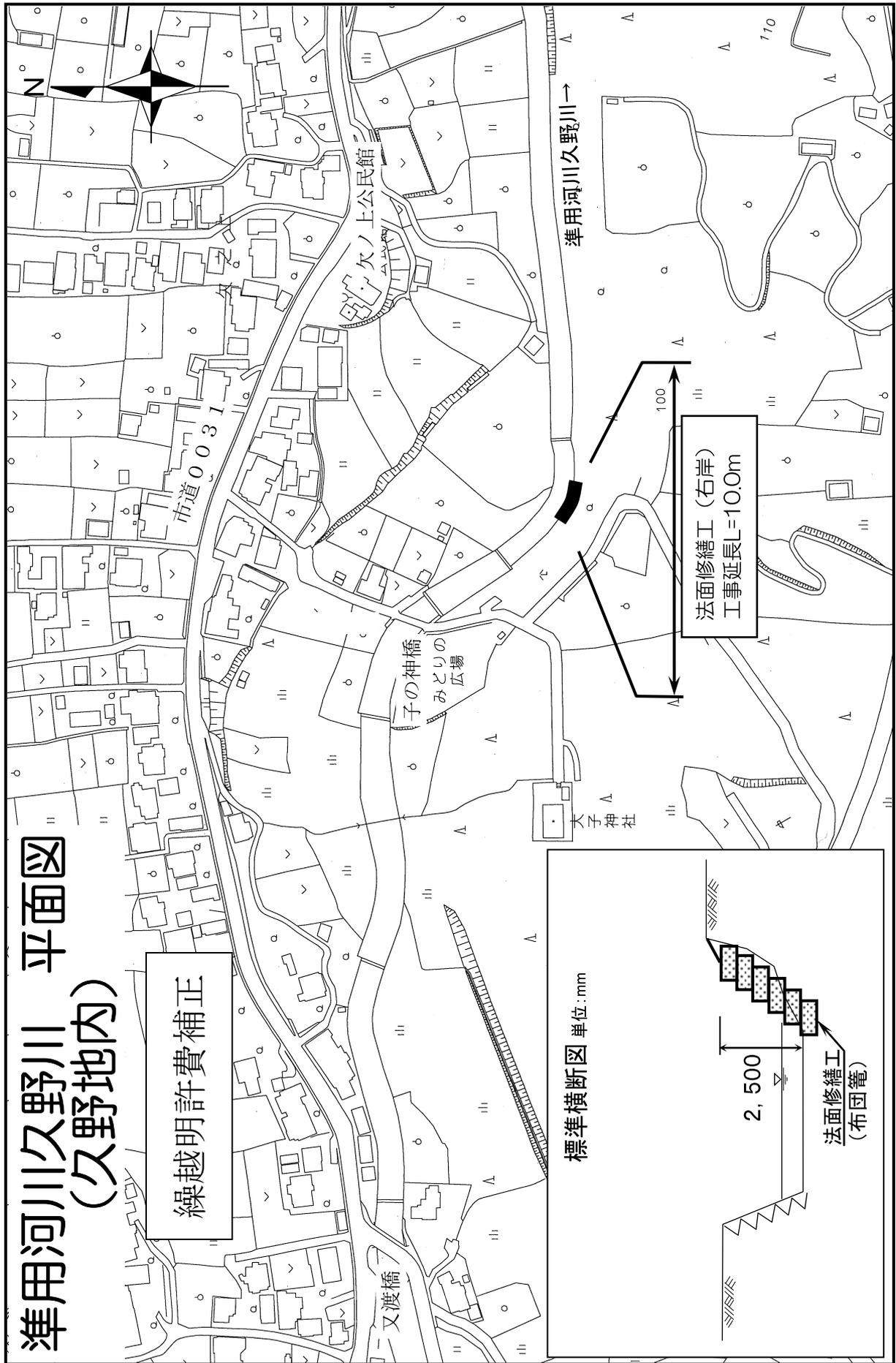
繰越明許費補正

コンクリート板柵工、集水柵工
工事延長L=40.0m



準用河川久野川 平面図 (久野地内)

繰越明許費補正

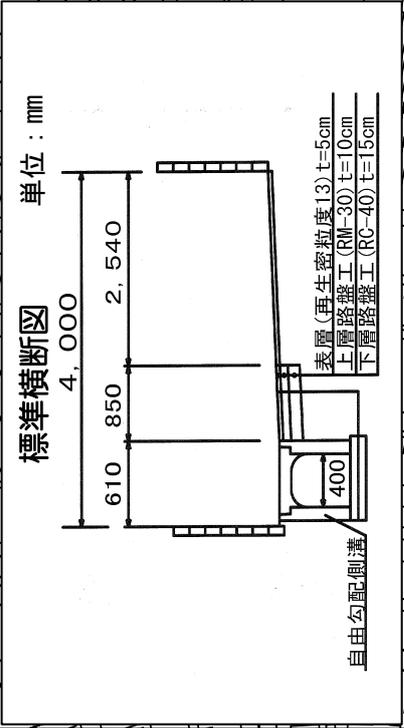


標準横断面図 単位: mm

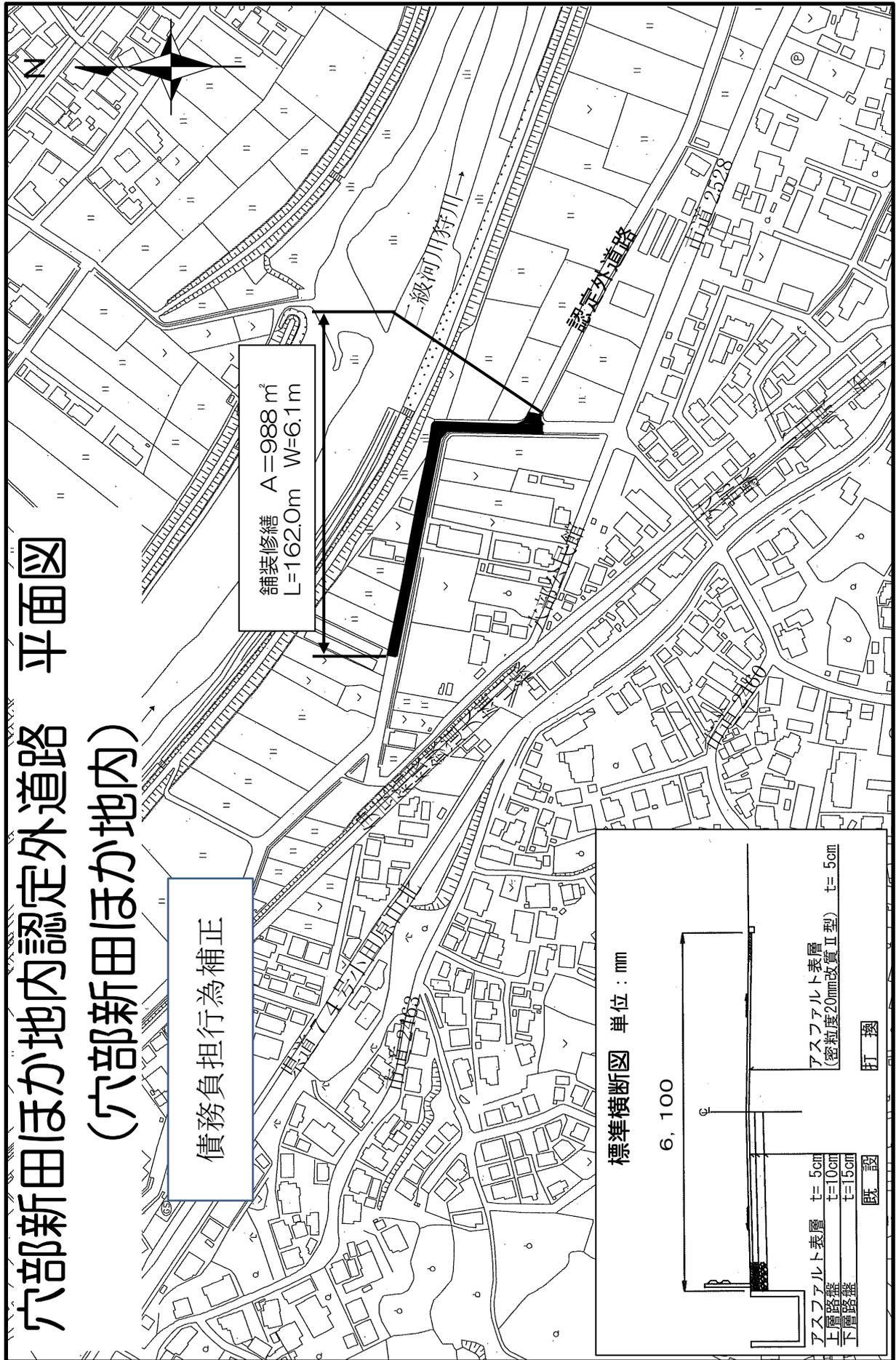
2,500

法面修繕工
(布団籠)

市道3019ほか2路線 平面図 (蓮正寺地内)



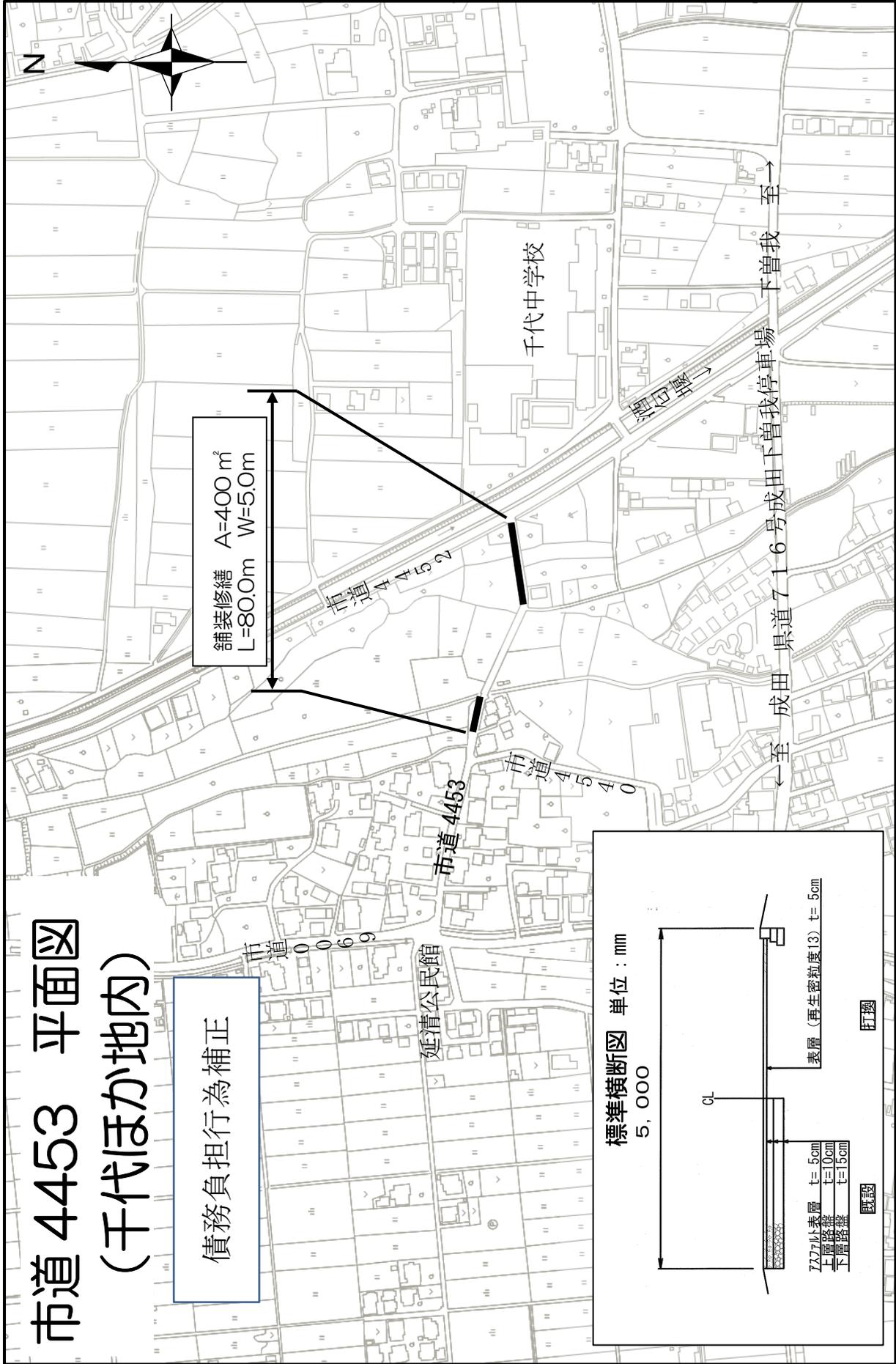
穴部新田ほか地内認定外道路 平面図 (穴部新田ほか地内)



市道 4453 平面図 (千代ほか地区)

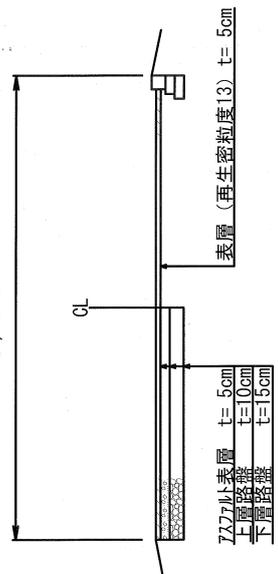
債務負担行為補正

舗装修繕 A=400㎡
L=80.0m W=5.0m



標準横断面 単位：mm

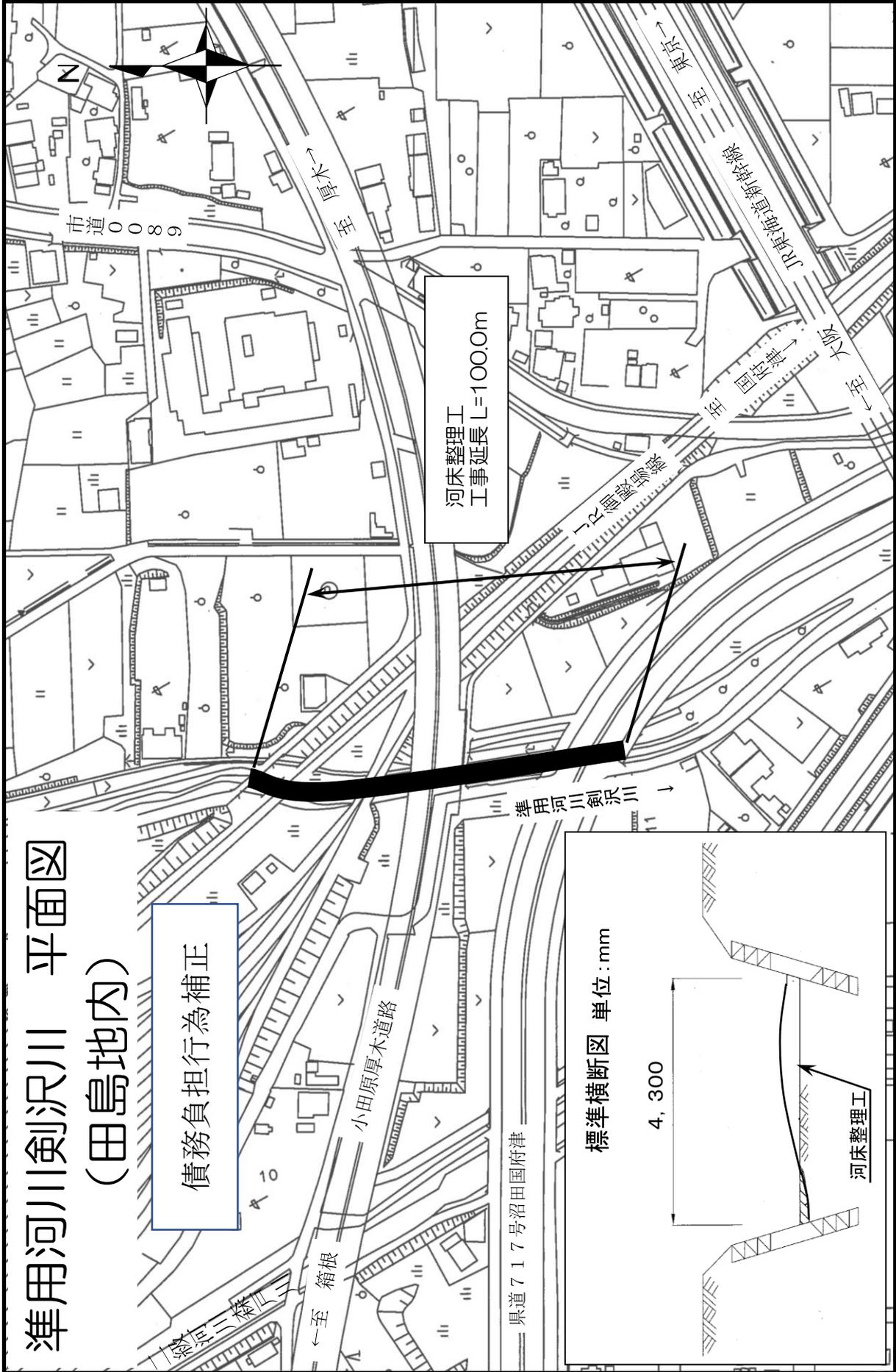
5,000



既設

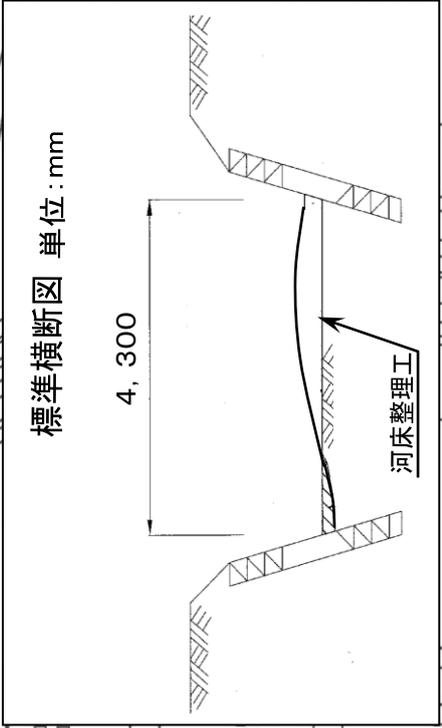
打設

準用河川剣沢川 平面図 (田島地内)



債務負担行為補正

河床整理工
工事延長L=100.0m



標準横断面 単位:mm

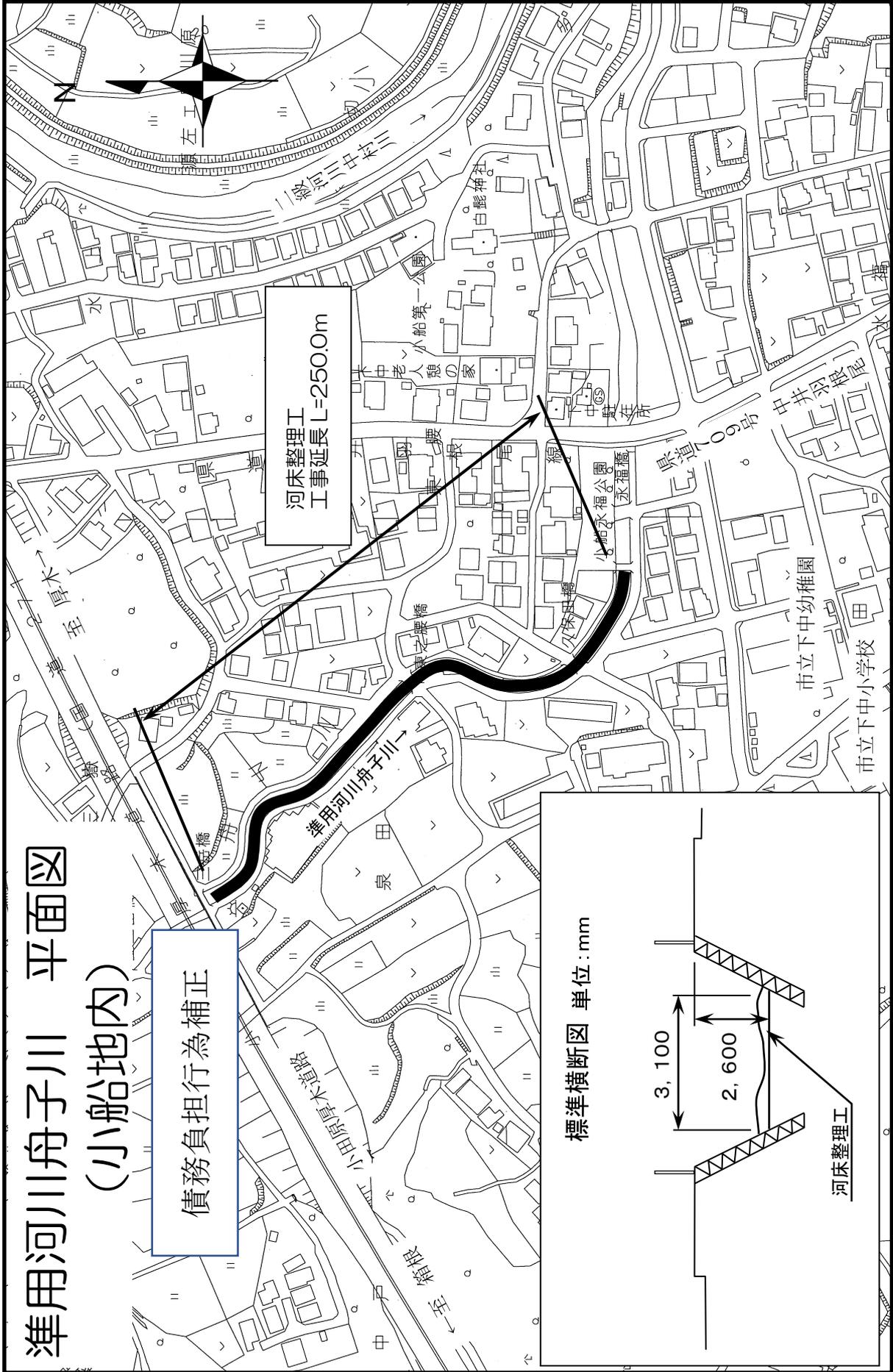
4,300

河床整理工

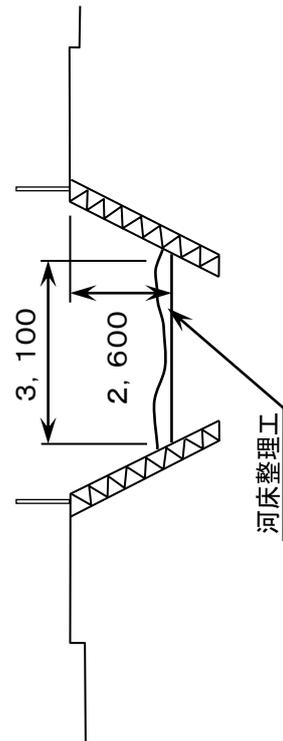
準用河川舟子川 平面図 (小船地内)

債務負担行為補正

河床整理工
工事延長 L=250.0m



標準横断面図 単位:mm



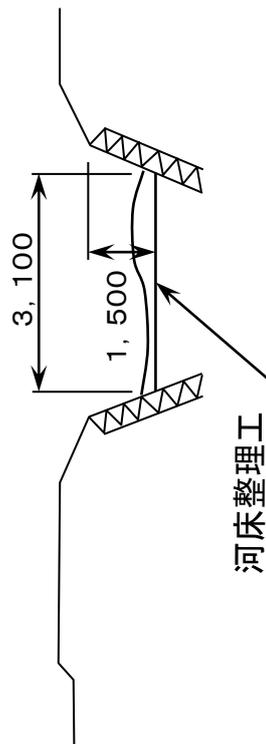
準用河川山岸川 平面図 (東大友・曾我別所地内)

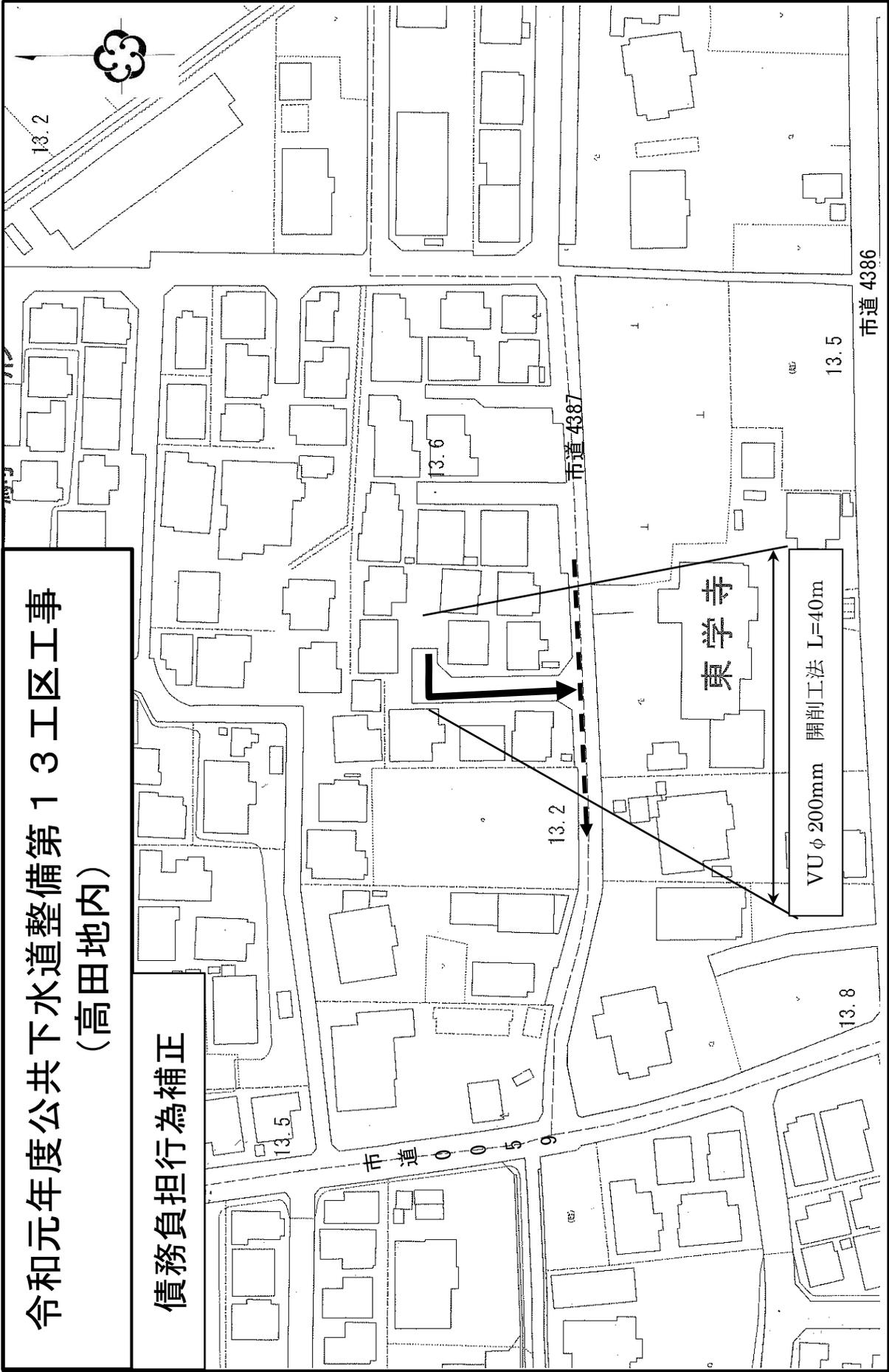
債務負担行為補正

河床整理工
L=200.0m



標準横断面図 単位:mm





令和元年度公共下水道整備第13工区工事
(高田地内)

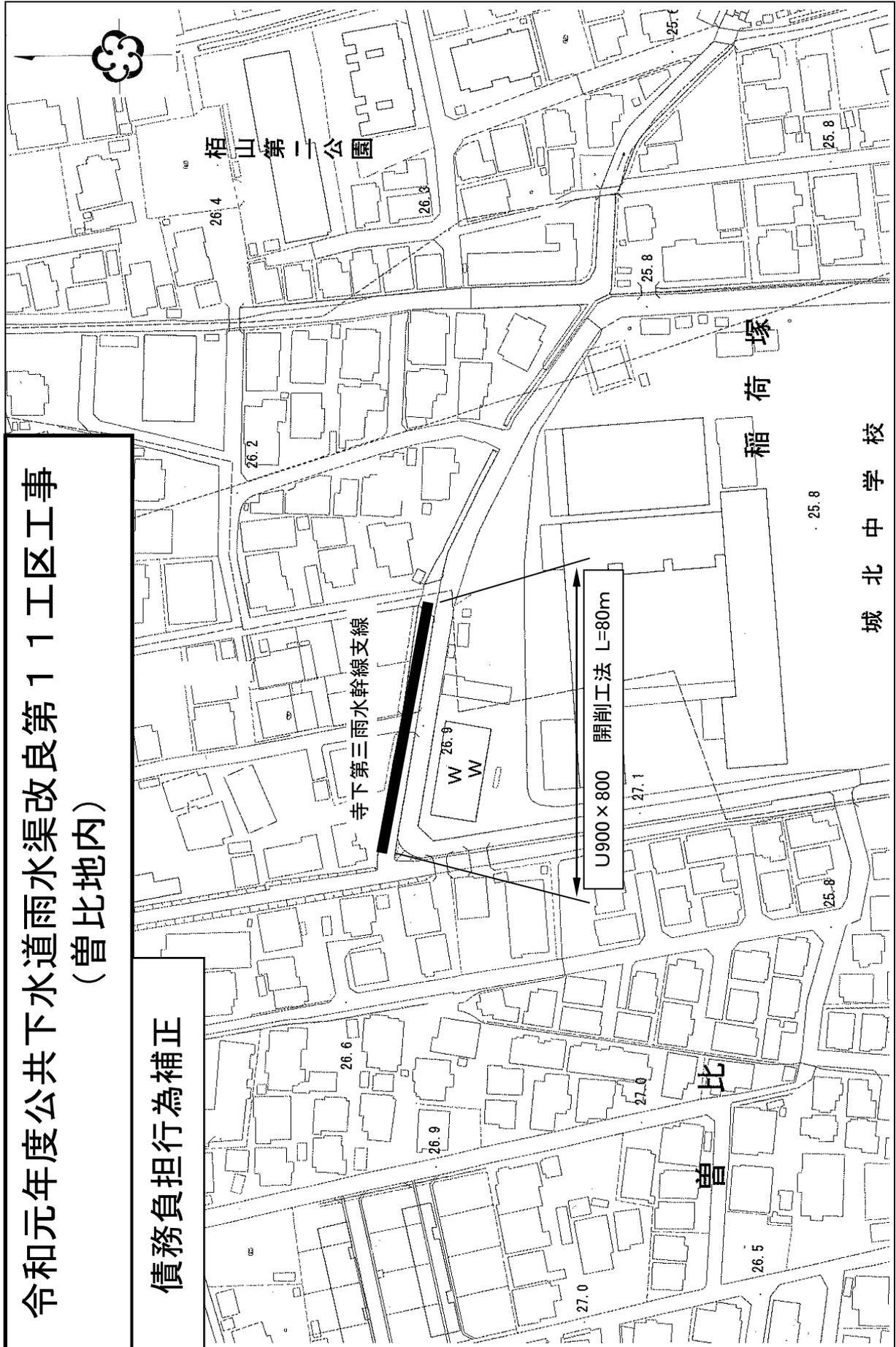
債務負担行為補正

東学寺
VU φ 200mm 開削工法 L=40m

令和元年度公共下水道雨水渠改良第11工区工事

(曾比地内)

債務負担行為補正



陶管φ250mm
更生工事L=451m

令和元年度公共下水道長寿命化改築工事(その2)
(中町二丁目ほか地内)

債務負担行為補正



(凡例)

— 改築工事箇所